

シリーズ  
原発・いのち・みらい  
その25

原発いのち・みらいプロジェクトで  
出前講座をスタート

小野 栄子 (石川県保険医協会事務局)



出前講座には関東からの避難者や地元の小児科医など9人が参加した (2013年12月15日、富山県砺波市のアプリコットにて)

石川県保険医協会は、東京電力福島第一原子力発電所の事故を受けて、二〇一二年七月に「原発・いのち・みらいプロジェクト」を立ち上げました。このプロジェクトでは隔月で会議を開催し、原発事故や福島県民健康管理調査の状況、チェルノブイリ原発事故の健康影響等の資料を収集し、「医師の立場から市民の皆さんに発信できることはなにか」を中心に検討を重ねてきました。そして、昨年より、プロジェクトメンバーを講師とした出前講座をスタートさせました。

第一回目の出前講座は、福島原発事故を受けて関東から富山県にいられた避難者グループの皆さんが企画し、十二月十五日に富山県砺波市のアプリコットで開催されました。講師をお引き受けいただいたプロジェクトメンバーの吉田均先生(能美市、小児科開業)は、「子どものいのちと放射線」をテーマに、①放射能汚染による環境の変化②原発事故平常運転でのリスク③チェルノブイリの健康被害④子どもの健康被害を防ぐ⑤線量の高い地域での注意点について、約二時間にわたりお話しされま

した。お話しの間、吉田先生は、福島原発事故を受けては、福島の皆さんは「ミニホットスポット」ができて、チェルノブイリの基準で強制避難区域に匹敵する場所が出現したことを紹介されました。東京都内における土壌の放射性物質濃度測定<sup>2)</sup>で、1kgあたり一万ベクレルを超えた六地点の中間には、参加者にも馴染みの公園もあり、「子どもたちの憩いの場なのに」と驚きの声が上がりました。

また、原発の平常運転時のリスクについては、泊原のある北海道積丹半島の泊村ではガン死亡率が千歳市の四倍にもなるというデータや、原発から半径五キロ以内では幼児白血病が二・一九倍に増加したというドイツのEINK研究<sup>3)</sup>も紹介されました。

そして、参加者から特に注目を浴びたのが、リンゴ

の皮に多く含まれるベクチンが腸内のセシウム一三七を吸着し、排出するという研究報告でした。ベラルーシの子ども六十四人を対象にビタベクト(濃縮ベクチン)を三週間服用した場合の効果を二重盲検法で調べたところ、ビタベクト服用群でセシウム一三七の濃度が大幅に低下したとのこと<sup>4)</sup>。このアップルベクチン効果については、富山医科大学(現富山大学)名誉教授の田澤賢次氏の著書『林檎の力』(ダイヤモンド社、二〇一二年二月発行)に詳しく書かれています。

今回の出前講座は、避難者の皆さんの心情に寄り添いながらお話しされる吉田先生の姿勢が非常に印象に残るものでした。また、地元、砺波市在住の小児科医が参加されたことも避難者の皆さんにとって大きな励みになったようです。日頃抱えている健康不安について安心して相談できる医師とのつながりを作れたことを喜ばれていました。

一方で、今回の参加者を含む避難者の多くが家庭内分断(避難元に残っている家族との対立)の問題を抱えながら暮らしているという深刻な実情もお聞きしました。避難期間が長期化するほど、家族間の溝やその深刻度は増していくのかもしれない。避難者の思いを共有する場、避難者同士で集まる場が求められていると感じました。

避難者による避難者のための企画となった第一回目の出前講座。アットホーム

原発・いのち・みらいプロジェクト  
出前講座のご案内

所属しているサークルや町内会で、「原発・いのち・みらい」をテーマに勉強会を開いてみませんか。保険医協会から講師を派遣します。

- ◆ **テーマ** 低線量被ばくへの健康影響、核被害の実相や核をめぐる国際情勢など
- ◆ **講師** 石川県保険医協会「原発・いのち・みらいプロジェクト」メンバーの医師
- ◆ **費用** 講師料は無料。交通費については別途相談に応じます。

※会場の準備、参加者募集は貴方にてお願いします。詳細は同封した案内チラシをご覧ください。

＜お問い合わせ先＞  
石川県保険医協会 TEL 076-222-5373 Fax 076-231-5156  
Eメール:ishikawa-hok@doc-net.or.jp

保険医の  
経営と税務 2014年版  
—確定申告・医業経営改善のために—

確定申告の時期が近づいてきました。保団連が確定申告や日常の経営税務対策のために毎年発行しているテキスト「保険医の経営と税務」の2014年版が1月末に発行されました。

**会員は1冊無料進呈、2冊目からは会員価格(1,000円)**となります。FAXにてお申し込みください。

- ◇ **目次構成**
    - 第1章 医業所得計算と日常業務
    - 第2章 共済制度と税金
    - 第3章 開業・承継・閉院
    - 第4章 相続税・贈与税
    - 第5章 スタッフの税務と給与実務の留意点
    - 第6章 勤務医師の税務
    - 第7章 消費税
    - 第8章 地方税の計算
  - ◇ **巻末資料**
    - 医療機関の収入に関する課税関係
    - 所得の種類と留意点
    - 控除額等計算一覧表
    - 確定申告書の記載例
    - 事前通知・終了通知チェックシート
    - 税務調査 対応の心得10のポイント など
- (体裁: B5判・184ページ、定価: 1,500円)